

令和8年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

I 予算編成の考え方

令和8年度は、第4期中期計画期間（令和7（2025）年度～令和12（2030）年度）の2年度目にあたり、引き続き「地域貢献・教育重視型大学」を目指し、理事長のリーダーシップの下、機動的かつ戦略的な大学運営を行う必要があります。

魅力化推進本部のもと、大学の魅力化に取り組み、高大連携、地域貢献、学生の県内就職に対する支援を強化します。

一方で、大学の財務状況は、依然として物価高騰や人件費増高等の影響を受け、大変厳しい状況となっています。そのため、事業の見直し、施設設備更新時の低スペック化、ダウンサイジング等による予算削減や、自己財源の充実に努め、大学運営費の健全化を図る必要があります。

したがって、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底しつつ、中期計画を踏まえ、大学の魅力化、島根創生を担う人づくりといった施策を重点的に実施する予算として編成しています。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は45億7百万円で、施設費の増や物価・人件費増高の影響により、前年度予算（40億71百万円）に比べ10.7%の増（436百万円）となっています。

（単位：千円）

区 分	R8当初	R7当初	増 減	増減率
予算規模	4,507,734	4,071,520	436,214	10.7%

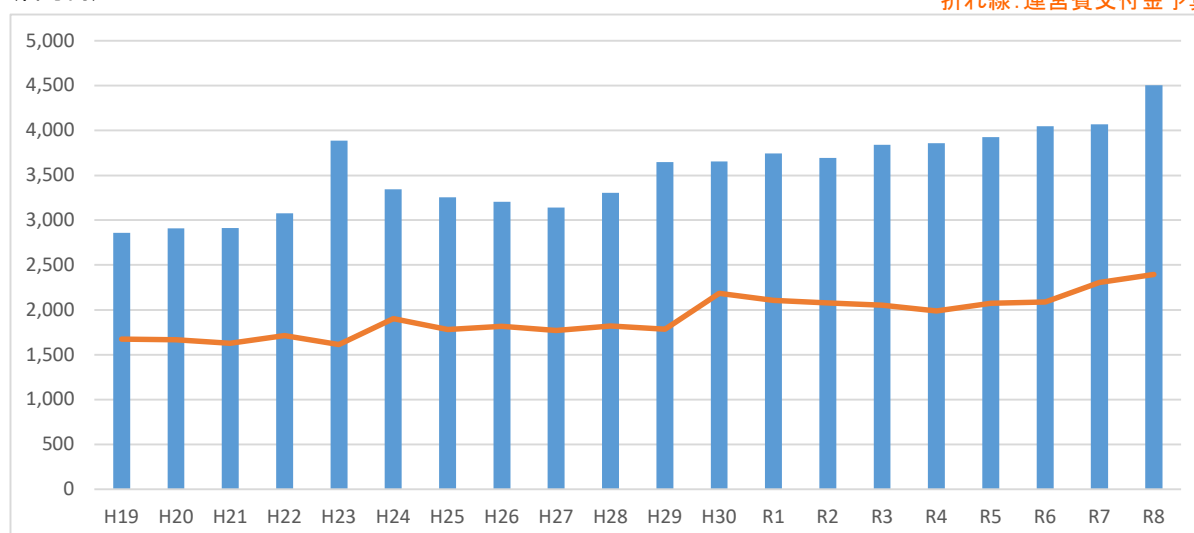
【参考】 予算規模の推移

（単位：百万円）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,253	3,206	3,139	3,305	3,649	3,655	3,742	3,697	3,842	3,858	3,927	4,049	4,071	4,507

（百万円）

折れ線：運営費交付金予算額



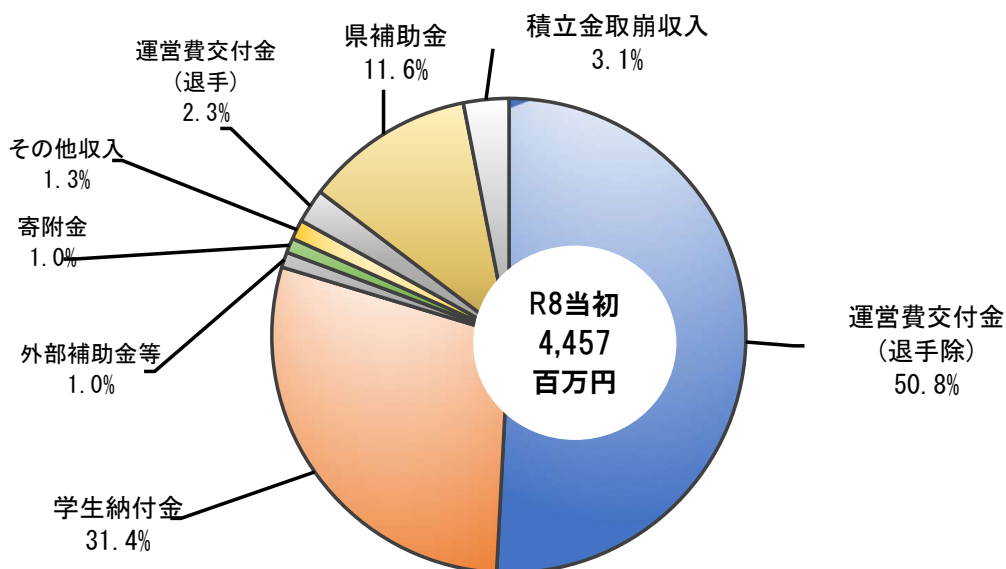
2. 収入予算

(単位：百万円)

区 分	R8当初		R7当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	2,291	50.8%	2,207	54.2%	84	3.8%
学生納付金	1,300	28.8%	1,279	31.4%	21	1.6%
外部補助金等	47	1.0%	48	1.2%	▲1	▲2.1%
寄附金	45	1.0%	44	1.1%	1	2.3%
自己収入	60	1.3%	68	1.7%	▲8	▲11.8%
計	3,743	83.0%	3,646	89.6%	97	2.7%
運営費交付金(退手)	104	2.3%	97	2.4%	7	7.2%
県補助金	521	11.6%	328	8.1%	193	58.8%
積立金取崩収入	139	3.1%	0	0.0%	139	#DIV/0!
合 計	4,507	100.0%	4,071	100.0%	436	10.7%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

- 運営費交付金が全体の51%を占めています。
- 運営費交付金（退手除）は、令和7年度人事委員会勧告を受けた給与改定への措置等により84百万円の増額となっています。
- 学生納付金は、授業料収入の増等により、21百万円の増額となっています。
- 寄附金については、島根県立大学未来ゆめ基金等を活用し、海外研修経費等に充てるため1百万円の増額となっています。
- 県補助金は、国が行う高等教育修学支援制度の支援対象が多子世帯にも拡大されたことへの措置、国の重点交付金充当による特殊要因補助金（大規模修繕経費）の増等により193百万円の増額となっています。
- 積立金取崩収入は、目的積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上します。令和8年度は139百万円の取崩を予定し、139百万円の増額となっています。
※令和7年度は第3期中期計画期間中に積み立てた目的積立金が県の承認を得るまで活用できなかったため、当初予算での取崩は0円となっていました。
※目的積立金充当事業…教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、環境整備等に資する事業



3. 支出予算

(単位：百万円)

区 分	R8当初		R7当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	562	12.5%	470	11.5%	92	19.6%
研究経費	134	3.0%	124	3.0%	10	8.1%
教育研究支援経費	198	4.4%	160	3.9%	38	23.8%
人件費（退手除）	2,646	58.7%	2,432	59.7%	214	8.8%
一般管理費	633	14.0%	562	13.8%	71	12.6%
施設費事業	178	3.9%	164	4.0%	14	8.5%
受託事業 等	47	1.0%	60	1.5%	▲13	▲21.7%
予備経費	5	0.1%	2	0.0%	3	150.0%
計	4,403	97.7%	3,974	97.6%	429	10.8%
人件費（退手）	104	2.3%	97	2.4%	7	7.2%
合 計	4,507	100.0%	4,071	100.0%	436	10.7%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

○教育経費は、国が行う高等教育修学支援制度の支援対象が多子世帯に拡大されたこと等により92百万円の増額となっています。

○教育研究支援経費は、システム更新や教職員パソコン機器更新等により38百万円の増額となっています。

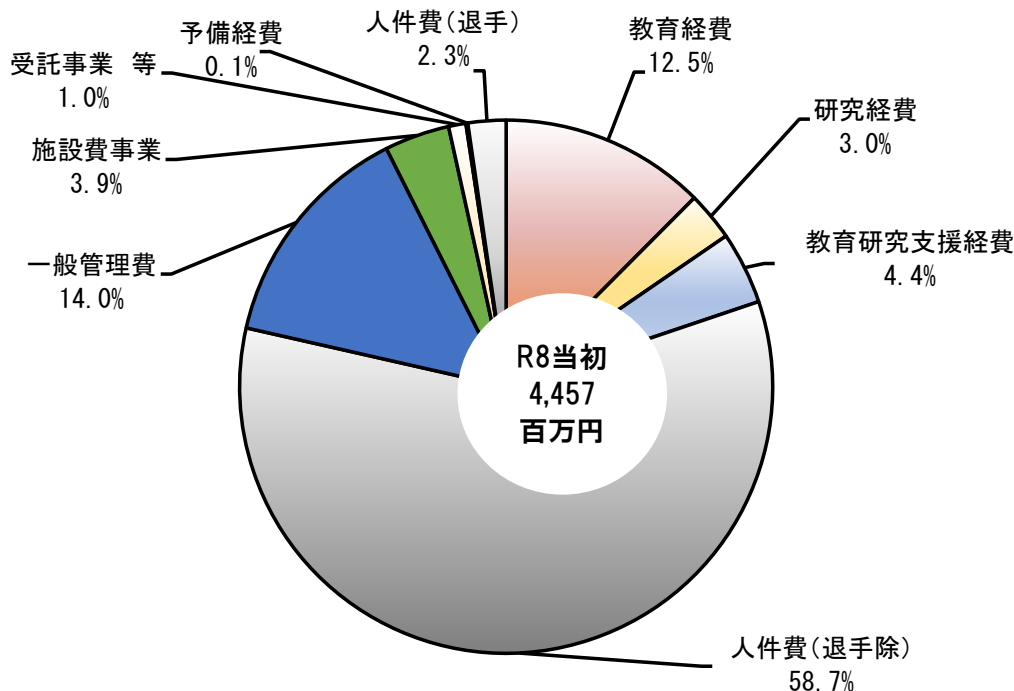
○人件費（退手除）は、人事委員会勧告を受けた給与改定や最低賃金の引き上げに伴い214百万円の増額となっています。

なお、人件費の上昇は今後続くと見込まれるため、抑制に向けた検討も今後の重要な課題です。

○一般管理費は、修繕箇所が増加、施設管理費の増加等により71百万円の増額となっています

○施設費事業は、国の重点交付金充当による特殊要因補助金（大規模修繕経費）の増等により14百万円の増額となっています。

○予備経費は、近年の執行実績を踏まえつつ、年度途中の緊急的な支出に備え5百万円を計上しています。



Ⅲ 主な事業

第4期中期計画に掲げる基本目標：「地域に貢献する人材を輩出する大学」

(1) 入学者に占める県内出身者割合の向上（県内高校との高大連携推進、広報の充実）

- ①サテライトキャンパス等を活用した人材育成と地域貢献（全C）〈継続〉 14,057千円
・高大連携を担当する学長補佐の配置を継続し、連携活動の充実に図るとともに、「YASUGI未来アトリエ」（安来市）や「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」（大田市）等のサテライト施設を活用し、高大連携活動や実践的な地域教育に取り組む。
- ②広報プロジェクト事業（法人本部）〈継続〉 6,049千円
・本学の特色ある学修内容や魅力、育成する人材像などを高校生、保護者、進路指導教員に印象づけるため、ホームページの改修等、広報活動の充実に取り組む。

(2) 学びを通じた地域貢献や資格・免許取得の促進（教育研究や学生支援の充実・魅力化）

- ①海外留学・海外研修等に係る奨学金（全C）〈拡充〉 24,960千円
・グローバル人材を育成するため、学生の海外留学、海外研修等に必要となる経費の一部を支援するとともに、渡航費が高騰する中、東南アジアを中心に安全かつ安価な留学・研修先の開拓を積極的に行う。
- ②地域貢献奨励金（法人本部）〈継続〉 3,800千円
・学生の主体的な地域貢献活動を促進するため、交通費や宿泊費等、必要な活動費の支援を行う。
- ③認定看護師養成事業（出雲C）〈継続〉 29,063千円
・熟練した看護技術と知識を用いた水準の高い看護を行うことのできる看護現場のスペシャリスト「認定看護師」の養成を島根県からの受託により実施する。教育課程「認知症分野」を令和8年度新たに開講する。
- ④科研費申請支援事業（法人本部）〈拡充〉 11,404千円
・魅力化推進本部に「研究・イノベーション推進室」を設置し、科研費等の外部資金獲得の取組を強化する。
・教員の研究を支援するURA（ユニバーシティー・リサーチ・アドミニストレーター）を配置するなどの研究支援体制を充実させ、科研費の申請率や採択率の増加に向けた取組を強化する。
- ⑤石見地域文化国際ラボ（法人本部）〈新規〉
・魅力化推進本部に「石見地域文化国際ラボ推進室」を設置し、石見地域の多様な文化資源を題材として、研究・教育・国際発信を全学的に推進するための枠組みを構築する。

(3) 県内就職率の向上（県内企業との接点づくり、キャリア支援の充実）

- ①しまね産学官人材育成コンソーシアム事業（法人本部）〈継続〉 11,597千円
・県内就職促進に向け、大学、企業、県等により設立されたコンソーシアムの枠組みの下、企業と連携した教育プログラムの実施や「しまね大交流会」の開催等の取組を引き続き実施する。
・キャリア支援を担当する学長補佐の配置を継続し、学生のキャリア相談や長期実践型キャリア教育など、支援体制を充実する。

(4) その他

- ①入学料授業料減免制度（全C）〈継続〉 368,499千円
・国の高等教育修学支援制度による入学料・授業料の減免実施のほか、国制度の対象外となる大学院及び別科の学生に対しては、独自に支援を行う。
- ②施設管理等経費（各C）〈拡充〉 556,269千円
・安全な学生生活の確保のために必要な施設管理経費を計上する。
・エネルギー価格・物価高騰対策として、照明器具LED化工事や空調更新工事を計画的に実施する。